



## Google Apps for Business とタブレット端末で ペーパーレス会議を実現し環境保護とコスト削減に結実。 コミュニケーション環境も大幅に向上。

毎月、約 10,000 枚以上  
におよぶ資料コピーを不要  
にすることで、コピー代  
や紙代、人件費などを年間  
約 45%も削減。さらに、  
機密性の高い資料のシュ  
レッターなどの手間もかけ  
ずに済み、セキュリティ性  
が向上しました。

新井英人氏

生活協同組合パルシステム東京

**pal\*system**  
パルシステム東京

<http://www.palsystem-tokyo.coop/>

### GOOGLE APPS について

Google Apps for Business は、クラウドの価値を実感できる、画期的なホスティング型オフィス・スイート。1人 25GB の大容量メールボックス、会議への召集も簡単なカレンダー、1つのドキュメントをオンラインで共有しながらのレビュー、誰でも簡単に立ち上げられるサイト、急ぎの件や確認に便利なチャット、円滑なリモートワークを実現するビデオ通話、動画の投稿や共有、そして強力無比の検索などなど。Google Apps for Business には、社内情報を共有・管理し、最大限に活用するさまざまな機能がセットされています。しかも、費用は1ユーザーあたり年間 6000 円。IT 部門の管理者は、サーバー需要の増加、メンテナンス作業、セキュリティ対策などに悩む必要もありません。

詳細は <http://www.google.co.jp/a> まで

\*すべての企業名及び製品名は、該当する企業の商標または登録商標です。

### 事業概要

パルシステムとは、「暮らし課題解決」をテーマに、関東および近郊 1 都 9 県の約 130 万世帯の生活をサポートする生協組織。各地域の会員生協が「国産」「産直」「環境」にこだわった安全な食料品を組合員宅へ週 1 回配達するなどのサービスを行う。留守でも専用保冷箱に入れて配送するので、外出機会の多い主婦などでも安心して利用できるのが特長。東京都内はパルシステム東京がカバーしており、約 40 万人の組合員を擁している。

### 製品導入前の状況と課題

パルシステム東京の理事会は、組合員理事、常勤理事およびスタッフからなる約 40 名のメンバーで構成されている。うち 20 名ほどを占める非常勤の組合員理事はパルシステムのユーザーである組合員を代表し、そのほとんどが普通の主婦。理事会は月 1 回程度行われており、毎回、100 ページほどの資料が配布されていた。

『環境保護を標榜するパルシステムが、こんなに紙を使っているのは問題。なんとかならないか』との声が以前より叫ばれていました」とパルシステム東京の新井英人氏は言う。資料は理事会終了後、各自持ち帰って保管するか、後日シュレッダー等で処分される。

「機密情報も多く含まれているので、シュレッダーのない組合員理事は自宅で紙ごみとして処分できず、重い資料を事務所まで持参してもらってまとめて処分していました。そんな手間もかかっていたのです」

既存のメールシステムは、グループ全体で導入した Microsoft Exchange® を各地域の会員生協が使用する形になっているが、非常勤理事の多い理事会メンバーにとって、外部からのアクセス性やグループウェア機能はあまり実用的なものではなかった。

### Google Apps for Business 導入の経緯

新井氏はノートパソコンやネットブックによるペーパーレス化を検討したが、IT リテラシーが高いとはいえ組合員理事が使いこなすのは難しく、またメンテナンスやセキュリティの問

「資料をいつでも、どこでも確認できて便利」92%、「資料が見やすい」87%、  
「資料の事前確認」100%など、ペーパーレス会議の高い満足度が実証されたほか、  
メーリングリストやカレンダー共有で、組合員理事と本部との連絡や  
コミュニケーションが向上したとの回答が 71%を占めました。

題もクリアしなければならず、結果的に見送られていた。また、ポリシーによるメール容量制限の関係で、資料を分割して配信しなければならないなどの面倒もあった。

「そんな時に iPad が出て、これと Google Apps を組み合わせれば使えるかもしれないとひらめいたのです。Google Apps は、リセラーのセミナーで知っていました」

2010 年 10 月、まず iPad5 台を購入し、Google Apps の無償版を導入して試験的に運用を開始。各部署が作成した理事会用の資料をクラウド上の Google サイト にアップすることで、いつでもどこでも見たい資料がペーパーレスで見られる環境を構築した。2011 年 2 月には、より本格的な機能利用と独自ドメイン取得のため Google Apps for Business を 40 アカウント導入し、iPad とともに理事会構成メンバーに配布した。

### Google Apps for Business 導入の効用

毎月、約 10,000 枚以上におよぶ資料コピーを不要にすることで、コピー代や紙代、人件費などを年間約 45%、100 万円ほど削減することができた。また、理事会構成メンバーへのアンケート調査では、「資料をいつでも、どこでも確認できて便利」92%、「資料が見やすい」87%、「資料の事前確認」100%など、導入後まもない間にペーパーレス会議の高い満足度が実証された。

また、会議のペーパーレス化だけではなく、Google Apps for Business によりメーリングリストやカレンダー共有ができるようになって、組合員理事と本部との連絡やコミュニケーションが向上したとの回答が 71%を占めた。さらに、2011 年 10 月からは、Google サイト を用いて一般の株主に該当する総代の活動報告をアップし、対外 PR にも努め始めている。

「今後、“Google+”などの新機能を積極的に活用していきたい。Chromebook にも期待しています」と新井氏は言明する。